

広報 ひろば **たいせつ**

5月号目次

- P 2～6 … 第16回通常総代会
- P 6 …… 退任役員ご挨拶
- P 7 …… 新任役員ご挨拶
- P 8～9 … たいせつなここがポイント
- P 10 …… JAグループ通信
- P 11 …… たいせつHOTニュース
- P 12 …… メカニックセンターからのお知らせ
- P 13 …… 退職者ご挨拶
- P 14 …… 理事会・監事会からのご報告・たいせつのあゆみ



第16回通常総代会において議長に選出された
(左)東鷹栖16区農事組合 中田 雅昭さん (右)鷹栖17区町内会 川上 信幸さん

ホームページURL <http://www.jataisetu.or.jp/>



第16回 通常総代会 開催

たいせつ農協第16回通常総代会が4月10日午後1時より、たかすメロディーホールに於いて総代・来賓各位多数のご出席を戴き開かれました。

可決承認されました。また、議案審議終了後に「JA北海道大会決議事項の着実な実践を通じた自己改革の取り組みに関する特別決議」がJAたいせつ青年部中山敬介部長より読み上げられ、満場の拍手で採択されました。その後、今回任期満了に伴い退任されます山口理事・小野寺理事・三浦理事・栗本監事より退任の挨拶を頂き、新たに就任する高野理事・高橋理事・澤田理事・高橋監事より就任の挨拶を頂きました。

最後に山原代表理事専務の閉会挨拶があり、午後2時57分閉会しました。

総代の皆様には、農繁期で大変お忙しいところご出席賜り有難うございました。

今後の農協運営につきましては、農協事業懇談会等でお出されましたご意見を基に役員一丸となつて努力して参りますので、組合員皆様の尚一層の深いご理解とご協力をお願い申し上げます。

第16回

通常総代会開会あいさつ

柿林孝志会長理事



「たいせつ農業協同組合」第16回通常総代会の開催にあたり、誠に僭越とは存じますが、御挨拶申し上げます。

組合員総代の皆様には何かと大変お忙しい中、本総代会に御出席を頂き、厚く御礼申し上げます。

又、御来賓の皆様には、日頃より農協事業に対して御指導・御協力を賜っております事を御礼申し上げますと共に、本日御多忙の中御臨席を頂き、重ねて御礼と感謝

はじめに、相澤筆頭理事の音頭により出席者全員でJA綱領の唱和を行いました。柿林会長理事、及び松原代表理事組合長より開会の挨拶がなされ、続いてご来賓を代表して鷹栖町長 谷寿男様、旭川市農政部長 新野康二様、系統連合会を代表致しまして、ホクレン旭川支所長 甲野智之様よりご祝辞を頂きました。その後、議長団の選出では、鷹栖17区町内会、川上信幸さん、東鷹栖16区農事組

合、中田雅昭さんが選出されました。議長団の就任挨拶の後、総代会への出席人数の報告がなされ、総代定数296名中、実出席総代数217名、代理議決数4名、書面議決数39名で本総代会が成立する事を告げ議事に入り、平成30年度第16事業年度事業報告、決算報告、剰余金処分案、平成31年度事業計画案を含む9議案並びに報告事項3件について上程され、満場の賛成で全議案について原案通り

を申し上げる次第であります。

昨年の北海道農業は、2月の大雪、7月の豪雨・低温日照不足、9月の台風21号等の気象災害により、たいせつ地域の主幹作物である水稲も作況指数90の「不良」となり、厳しい年となりました。

さらに、9月6日早朝発生した胆振東部地震では、大勢の尊い命が失われるとともに農畜産物や農業施設等に未曾有の被害が発生したほか、「ブラックアウト」の発生により、農畜産物の集出荷・輸送・製造・保管等に非常に大きな影響が出ました。

改めまして、被害にあわれた地域の農家の方々に心からお見舞い申し上げます。

私事では御座いますが、今年の6月でホクレンの副会長として2年経過することになります。毎日の日常業務に追われ何も出来ぬまま現在に至っているような感じがいたしますが、残された期間全力で取り組みたいと思っておりますので御協力・御支援のほど宜しく御願ひ申し上げます。

若干、農業・農協を取り巻く情勢とコメの状況について、お話をしたいと思います。

国内農業における、農業就業人

口の減少と高齢化について、年齢階層別で65歳以上の割合は北海道39・8%で全国平均66・3%を大きく下回っているものの高齢化は急速に進行しております。

一方で大規模化、法人化が進んでおり、農業構造の変化が加速化しておりますが、一部では耕作放棄地の増加等の諸問題が顕在化し、厳しい環境下にあります。

また、農業・農協改革については、昨年4月急遽、主要農作物種子法が廃止され大変心配いたしました。強い要請運動の結果、道条例が制定され生産者の不安が拭かれる結果となりました。

本年、5月末が「農協改革集中推進期間」の期限となりますが、規制改革推進会議では単協の信用事業譲渡、准組合員の事業利用ルールの在り方などで引続きフォロアップを実施する事としており、今後の動向を注視する必要があります。

又、国際貿易交渉等をめぐる情勢ですが、昨年12月30日に「TPP11」、今年2月1日に「日EU・EPA」が相次いで発効したのに加え、新たに日米物品貿易協定の交渉が始まる等、本道農業に対する影響が懸念されるため今後の

動向を注視していくと共に、国に對しても毅然とした対応を求める必要があるのではないかと思います。

最後に私がホクレンで担当しているコメの状況について今後の見通しを含めて若干お話し申し上げます。

昨年は北海道・上川ともに作況指数90の不良、低タンパク比率も低く、「ゆめぴりか」の基準品である7・4%以下は全体の3割程度しかなく、結果として、一昨年来までつづいた平成23年からの7年連続の豊作は途切れることとなり、残念な結果となりました。

全国の需給状況ですが、昨年の全国作況指数が99で、米主産地である東北・北陸の各県の作況が悪かったことにより、生産量は国で示した自主的取組参考値735万トンをも下回る、733万トンと予想され、31RY需要量735万トンとすると、昨年の持越在庫分より2万トン減少し、31年10月末持越在庫が5万トンと予想され、比較的均衡することから、米の価格は3年連続上昇し、現在、昨年並みの（ななつぼし）14,500〜15,000円（税抜き）程度での販売となっております。

現在、好環境の中でのコメの販売となっておりませんが、本年の水稲作付について、一部報道では全国の主産地がほぼ昨年並みの作付動向にあり、作柄によってはコメの消費量が毎年減る傾向にある中、需給が大幅に緩和し米価下落を招く可能性も孕んでおり注視する必要があります。

いずれにしても、「たいせつ農協」は平成31年を目標とした第5次地域農業振興計画の最重要課題として、水稲生産による安定経営を目指し、米主産地としての盤石な生産数量と用途別販売需要数量の確保に努め、「売れる米づくり」を推進することを挙げておりますので、組合員各位の一層の組合に対する結果と、特に今年については、最大限の水張面積の確保に御協力をお願いいたします。

結びになりますが、既に農作業も本格的に始まっておりませんが、特に事故、災害等には気を付け、御健勝で豊穡の秋を迎える事をご祈念申し上げます。

本日は大変ご苦勞様で御座います。

第16回

通常総代会開会あいさつ

松原剛志代表理事組合長



たいせつ農業協同組合第16回通常総代会開催にあたり一言、御挨拶申し上げます。

総代の皆様におかれましては、春の農作業の最盛期を迎えて、それぞれに大変お忙しい中、本総代会に御出席を戴き誠にありがとうございます、心より感謝申し上げます。

又、本日公私共に何かと御多用の中、御臨席を賜りました御来賓の皆様には日頃より、たいせつ農

協の事業運営に対し格段の御指導・御助言を戴いておりますことに対し改めて心より感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

今ほど、柿林会長の御挨拶の中で昨今の国際貿易交渉の情勢や米をめぐる国内の状況について、お話がございましたので、その辺のところは割愛をさせていただきたいとおもいます。

昨年北海道は1年を通じて過去に無いほどの気象災害・自然災害の多い年でありました。7月の集中豪雨・相次ぐ台風の通過・9月6日の胆振東部地震と、幸いにしてたいせつ地域においては大きな被害はありませんでしたが、地震後に発生した2日間に及ぶブラックアウトの発生は農協業務や組合員皆さんの生活と営農に多大な影響を与えました。幸いにも平成29年度に鷹栖町の支援を受け導入した鷹栖スタンドの非常用発電機によって最低限の油種の供給が出来ることが救いであり、改めて非常時の備えの重要性を認識させられたところでもあります。

昨年のたいせつ地域の農業は融雪が比較的早く、4月・5月の天候も比較的好天に恵まれ春作業全

般に順調に進み、出来秋に大きな期待をしていたところ、6月に入り一転長期間に亘り低温・寡照となり、結果的にはこの時期の天候不順が全ての作物の収穫に大きな影響を与えることとなり、水稲についての作況指数は全道90、上川90の不良となり、品質に於いても低タンパク米の比率が低く、収量・品質共に大変厳しい一年となりました。

米の集荷については出荷契約数量292,752俵に対し246,228俵の実績となり、屑米等あわせ販売総額39億7614万円、麦・大豆・採種等合わせ販売高合計40億7,866万円、計画対比89・8%となりました。ライスセクター・上川ライスターミナルを合わせた施設利用率70%となり、利用頂いた生産者皆様に感謝申し上げます。たいせつ農協が今後とも実需の信頼に応えられる揺るぎない米産地としての地位を確立することが生産者の経営安定と所得確保につながるものと確信しておりますので更なる利用をお願いいたします。

青果についても天候不順の影響の中、作物管理に苦勞の多い一年となり全作物で収穫量が前年を下

回る結果となりましたが、価格面で高単価であったことから販売高では前年実績対比・計画対比共に上回る3億407万円となりました。

酪農・畜産については、昨年5月に4JAで本格スタート致しました上川生産連との業務委託による集約化を順調にスタートすることが出来ました。畜産物取扱合計で3億9491万円となり、計画対比111・9%となりました。

更には、購買事業・金融事業・共済事業の各部門においても非常に厳しい環境の中ではありますが積極的な事業推進に努めると共に費用削減と事業管理費の圧縮に努め、組合員皆様の御協力の元、事業利益4,985万円、当期剰余金5,852万円を計上することが出来ました。改めて組合員皆様の御協力に対し厚くお礼申し上げます。次第でございます。

又、青年部が、田んぼアートを主題としての活動実績発表で上川大会・全道大会・北海道東北大会で最優秀賞を獲得し全国大会での発表の機会を得たことは、たいせつ農協発足以来の快挙であり青年部の皆さんに心より敬意を表する処であります。田んぼアートに関

しては、今後とも主導的役割を担って戴いている青年部の皆さんは勿論のこと、組合員皆様の御理解・御協力をお願いするところでございます。

本年度計画については、第5次地域農業振興計画の最終年であり、その事業進捗の検証を元に計画達成に向けて事業推進を図ると共に次年度からの第6次地域農業振興計画の立案にむけて組合員皆様の意見の収集にあたってまいります。米については道農業再生協議会が主体となり示された「生産の目安」による需要に応じた米生産を推進するとの認識をJAたいせつ地域においても共有し、その方針に基づいて最大限の水張面積の確保に取り組み、米の需給環境が極めて不透明のなか、産地指定獲得と収穫前における事前契約の積み上げによる需要確保に積極的に取り組み、JAたいせつ産米の評価向上に努めて参りますので、今まで以上にJA出荷に御理解と御協力をお願い申し上げます。

青果物については、旭川青果連をはじめとする各関係機関との連携強化を図り、栽培履歴や旭川青果連GAPなどの取り組みを徹底

し生産拡大に努めて参ります。

又、酪農・畜産に於いては相次いで発効された「TPP11」や「日EU・EPA」の影響が心配されるところであり、系統組織と更なる連携を図り、よりの確な情報の提供に努め生産体制の構築を図って参ります。

農畜産物の取り扱い計画は51億1千万円とし、購買事業・金融共済事業ともに事業の取り巻く情勢は相対的に厳しい状況ではあります。更なる事業推進と費用の削減に努め当期剰余金2,136万円を目標に役職員一体となって取り組んで参りますので組合員皆様のより一層の御支援・御協力をお願い申し上げます。

本日の総代会提出議案9件・報告事項3件について、先般の農協事業懇談会で御説明させて頂いたところで御座いますが、充分なるご審議のうえ全案件の御承認を賜りますようお願い申し上げます。最後に、組合員皆様のご健勝と豊穰の秋を迎えられます事を心よりご祈念申し上げます。あたっての御挨拶といたします。本日は誠にありがとうございます。

総代会祝辞（要旨）



鷹栖町長 谷 寿男氏

鷹栖町では昨年4月に鷹栖町農業研修センター「あつたかファーム」を開設し4名の農業研修生を受入れ本年も2名を受入れ、鷹栖の農地を守っていくようとしていきます。事業継承も3組出来、鷹栖でも若い力の動きが少しずつ見えてきています。

鷹栖町たいせつ地域は、道内はもとより日本有数の米どころで、これを何とか守り成長させる事が名代だと思っています。鷹栖町としても全力で支援して行きたいと思っています。



旭川市農政部長 新野 康二氏

旭川の農業が持続的に発展していくために、JAをはじめ農業関係団体がこれまで以上に連携し競争力のある産地を確立する取組を進めていかなければならないと考えております。また、JAたいせつの皆様におかれましては、毎年田んぼアートフェスティバルを開催され消費者との交流を深める取組をなされていますが、今後とも北海道の自然や農業の魅力を広めて下さい。

〳西川市長メッセージ代読

J Aグループ北海道では、昨年のJ A北海道大会メインテーマである「北海道550万人と共に創る力強い農業と豊かな魅力ある農村」の実現のため、グループ一体となり取組んでおります。さらに協同組合の原点を見つめ直し新たな協同組合の姿について検討する事としており、今後も組合員の多様な価値観とニーズに対応出来る事業運営を通じ、自己改革を進めて参ります。J A組合員の皆様にもご協力をお願い致します。



ホクレン旭川支所長 甲野 智之 氏

— 退任役員の皆様 大変ご苦勞様でした —

この度の任期満了に伴う役員改選で山口喜松理事・小野寺昭一理事・三浦義昭学経理事・栗本幹夫常勤監事が4月10日で退任されました。

今回退任されました方々には、今後とも益々ご健勝でご活躍されますようお祈り申し上げます。



理事
山口 喜松
東鷹栖地区

平成16年4月にたいせつ農協理事に就任、平成19年4月から平成22年4月まで筆頭理事に就任、15年間お務めになりました。



理事
小野寺 昭一
鷹栖地区

平成22年4月にたいせつ農協理事に就任、9年間お務めになりました。



学経理事
三浦 義昭

平成24年4月にたいせつ農協理事に就任、7年間お務めになりました。



常勤監事
栗本 幹夫

平成22年4月にたいせつ農協監事に就任、9年間お務めになりました。

J Aの運営を担う新役員決まる

たいせつ農業協同組合新役員紹介

たいせつ農業協同組合19年次のスタートに当たり、4月10日の通常総代会において任期満了に伴う役員（理事・監事）の選任決定を戴きました。また、4月10日の第1回理事会、第1回監事会において次の通り新執行体制が決定致しました。



会長理事
柿林 孝志
【東鷹栖地区】



代表理事組合長
松原 剛志
【鷹栖地区】



代表理事専務
山原 茂
【東鷹栖地区】



筆頭理事
相澤 峰基
【鷹栖地区】



理事
酒井 雅憲
【鷹栖地区】



理事
高橋 雄二
【鷹栖地区】



理事
外川 守
【東鷹栖地区】



理事
高野 弘貴
【東鷹栖地区】



理事
布施 善貴
【東鷹栖地区】



理事
佐竹 敏明
【鷹栖地区】



学経理事
(参事・審査担当)
澤田 康彦



学経理事
(信用担当)
阿戸 伸一



代表監事
吉本 憲
【鷹栖地区】



監 事
霜野 光則
【東鷹栖地区】



員外監事（常勤）
高橋 和久
【員外】

たいせつなここがポイント

JAたいせつ営農部 農産販売課



移植後のほ場管理について

1 早期茎数確保の水管理

早期茎数確保のため、水深測定板を使用し1日1回こまめな水管理を実施しましょう。(写真1)

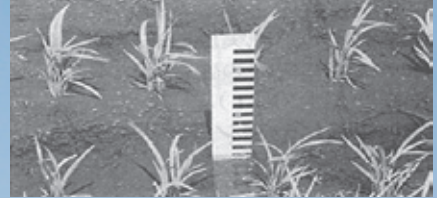
(1) 日中は止め水で水温上昇

水田は、水温の上昇に伴って地温も上がります。日中は止め水をして水温上昇を図りましょう。また、入水は早朝もしくは夜間に実施し、恒常的な掛け流しはしないようにしましょう。

(2) 分けつを促進する水深

晴天が続く時は、平均水深2～3cmの浅水管理を行い、水温を高めましょう。天気予報により低温が予想される場合(最高気温15℃以下)は、5～7cmの水深にしましょう。

写真1 水深測定板を活用した適正な水管理



2 土壌還元(ワキ)の対策

稲わらすき込み田では、水温・地温が20℃を超えると還元が現れるので、田面水の入れ替えを行いましょう。土壌還元が激しい水田では、晴天日を選んで中干しと併せて溝きりを行いましょう。中干しをする場合は、田面に大きな亀裂を生じさせないように注意しましょう。尚、土壌還元対策は幼穂形成期までに終わらせましょう。(表1参考)

表1 土壌の「ワキ」の症状と対策

ワキの程度	症状	生育への影響	対策
稀～少	水田に足を踏み入れても気泡の発生がない・わずかにある	なし	必要なし
中	水田に足を踏み込むと気泡の発生が多い	根の活力低下	水の入れ換え 暗きよ水こうの開放
多	水田に足を踏み込むと盛んに気泡を発生する	根張り不良	一時落水 暗きよ水こうの開放
甚	晴天時自然に気泡を発生し、音が聞こえる	根の伸長阻害 地上部の黄化	3～5日軽い亀裂が入る中干し

3 「いもち病」対策

昨年いもち病が発生したほ場や、いもち病の発生が心配されるほ場では、水面施用剤で早めの防除を実施して下さい。(表2参考)

表2 主な水面施用剤

薬剤名	使用量(10aあたり)	使用時期	注意事項
オリゼメート 1キログラム粒剤	1kg	6月下旬～ 7月上旬	・散布後4～5日間は湛水に保ち落水・かけ流しはしない。 ・施用の目安は幼穂形成期とする。
コラトップ ジャンボ	50g×10袋		

4 来年の苗床準備をしましょう。

春先のpH矯正では限界がありますので、稲刈り後に土壌診断を実施し、pHを適正值に矯正しておきましょう。また、わら堆肥のすき込み(2t/10a)や、えん麦等のすき込みを行い来年に向けての土づくりに努めましょう。

特に、本年磷酸過剰障害(磷酸過剰による苦土吸収障害)がみられたハウスは、必ず秋に土壌診断(精密分析)を受け対策をして下さい。

～省力化技術情報～

密苗栽培 編

密苗栽培とは中苗マットを使用している方へ向けた、ヤンマーが推進している省力化技術です。慣行の播種量(乾籾約100g/1箱)に対し約3倍(乾籾約300g/1箱)に増やして播種を行います。1箱当たりの播種量を増やし、10a当りに必要な箱数を慣行の3分の1に減らすことができます。

適正品種

密苗栽培は初期生育の確保が重要なため、北海道では早生品種が適性品種です。適期播種・移植を実施し、初期生育の確保に努めましょう。

留意点

比較的新しい省力化技術のため、栽培方法が**まだ確立されていません**。現状の留意点として、出芽が悪くなるためなるべく粒状覆土を使用しましょう。育苗日数は20日前後ととても短く、慣行よりもムシ苗が発生しやすいため注意が必要です。ほ場は必ず均平移植の際の植付姿勢を安定させるようにしましょう。また、初期生育が遅れやすい傾向があります。初期生育の遅れは出穂期や成熟期も遅らせるため、常に減収や品質低下に注意しましょう。実施を検討される方は**必ず農産販売課に相談**し、試験的に栽培を行い技術の確立をしましょう。



1 秋播き小麦

(1) 止葉期の分肥

粒重とタンパク含有率を高めるため、生育・葉色を見て分肥を判断しましょう。特に、止葉期での分肥が最も効果が高くなります。

表1 秋まき小麦(きたほなみ)の追肥目安

止葉期茎数 (本/m ²)	葉色	追肥窒素量 (kg/10a)	備考
1,000以上	-	追肥しない	茎数が多く倒伏の危険性が高いので追肥をしない。
800~1,000	濃い	0~2	茎数が適正~若干多い状況にあるため、多量に追肥すると倒伏の危険性がある。
	標準~薄い	3	
800以下	濃い	3	茎数が少ないので倒伏の可能性は少ない。葉色に応じて追肥量を決定する。
	標準~薄い	6	

※葉色の基準数値は止葉直下48~50程度(ミノルタ製葉緑素計SPAD502)。

(2) 赤かび病、赤さび病の防除

<赤かび病>

赤かび病は開花時期が最も感染しやすいので、開花状況を確認し開花始めに防除を実施します(図1、表2参照)。

<赤さび病>

近年気温の上昇と乾燥が続く、赤さび病の発生が見られます。止葉抽出期に初期発生を確認した場合はさび病に効果のある殺菌剤を散布します(表3参照)。

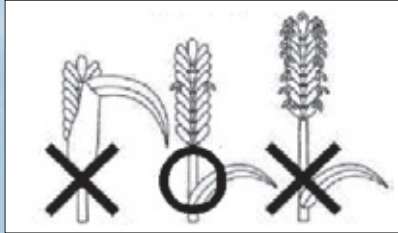


図1 赤かび病防除開花始めのタイミング

表2 赤かび病参考防除歴

	生育ステージ	薬剤名	系統名	病害、使用倍率	回数
				赤かび病	
1回目	開花始め	シルバキュアFL	DMI	2,000	2
2回目	前回から7日後	ベフトップジンFL	他合成・ベンゾイミダゾール	1,000	1
3回*	前回から7日後	シルバキュアFL	DMI	2,000	2

※3回目の防除は春まき小麦の方は実施しましょう。

表3 赤さび病参考防除歴

	生育ステージ	薬剤名	系統名	病害・希釈倍率	回数
				赤さび病	
1回目	さび病確認時 止葉抽出期	アミスター20フロアブル	Qol	3,000	3
2回目	止葉抽出期 ~穂ばらみ期	チルト乳剤25	DMI	2,000	3

雪腐病など冬損被害が大きいほ場においても、DON(毒デオキシニバレノール)の発生をさせないため、薬剤防除を確実に実施し赤かび病(F・グラニミアム)の発生を抑えます。

(3) アブラムシ類の防除

出穂期以降は、アブラムシ類の防除時期となります。1穂当たり7~11頭寄生し、寄生率率が45%を超えると減収するため防除しましょう。多発するかはその年の気象条件に左右されますが、出穂10日後頃に急増する傾向があります。そのため、出穂10日後頃で防除を行いましょう。

表4 アブラムシに対する参考薬剤

対象害虫	薬剤名	希釈倍率	使用基準	混用例
アブラムシ類	トレボン乳剤	2,000倍(50ml/10a)	収穫14日前まで/2回以内	ベフトップジンFL*
	スミチオン乳剤	1,000倍(100ml/10a)	収穫7日前まで/1回	
	エルサン乳剤	1,000倍(100ml/10a)	収穫7日前まで/4回以内	

※ベフトップジンFLの希釈倍率は表2を参考にしてください。

2 豆類

(1) 適期は種

は種適期は5月中旬~下旬です。地温10℃以上で出芽期に晩霜の無い時期には種を行いましょう。低温で播種をすると、種子の腐敗等で出芽不良となる場合があります。また、6月に入ってからのは種は減収につながりますので、適期は種に努めましょう。は種後は鎮圧をし、除草剤の効果を高めましょう。

畦畔・敷地への一般除草剤散布時のドリフト(飛散)による、農作物へ影響が増加しています。除草剤散布は、周辺作物や風向きに細心の注意を払いましょう。

畦畔や敷地内除草の省力化に一般除草剤の散布が増えているのに合わせて、水田や畑への薬剤ドリフト(飛散)による作物への生育被害や残留農薬検出などの影響が毎年発生、増加しています。

除草剤の影響により、作物に生育被害や残留農薬の検出があった場合、残留農薬の調査料や被害に応じた補償などが発生する場合があります。

特に畦畔への除草剤散布時の被害発生が急増しておりますので、畦畔への除草剤散布は最小限に留めること、散布の際は飛散防止のカバーを必ず装着すること、周辺作物やハウスの状況や風向き細心の注意を払うなど、農薬ドリフトによる影響を未然に防止しましょう。

食に対する安全・安心へ消費者の関心が高まっています。たいせつ地域産農産物の安全と安心を地域全体で守りましょう。

JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

JA北海道大会決議事項の実践やその時々々のトピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

JA北海道中央会



JAグループ北海道は、平成31年4月12日、札幌駅・地下歩行空間で開催された「JPO1まつり」で食と農・JAの魅力伝えるスマートフォンアプリ「JA2MP（ジエイエイジャンプ）」のダウンロードキャンペーンブースを出展し、400名を超える方々にダウンロード頂きました。

「JPO1まつり」はフリーマガジン「JPO1」に掲載された企業・団体が中心となり出展するイベントで、道内から4JA・1連合会が出展しました。

「JA2MP」配信開始から2年が経ちましたが、ダウンロード総数は20,138（4/12時点）となり、2万ダウンロードを突破しました。



JA北海道信連



JAバンクでは、子どもたちに食や農業の大切さを理解してもらおうきっかけとなることを願い、平成20年度から、食農教育等をテーマとした教材本を製作し、JAを通じて道内の小学校へ贈呈しています。今年度は、全道1,059校の小学校および特別支援学校に贈呈します。

なお、本会からは、北海道教育委員会へ教材本の贈呈を行い、教材活用への協力をお願いしました。



北海道教育委員会 教育長（写真右）へ贈呈

ホクレン



ホクレンでは北海道内の料理人らを主な対象にした北海道ホテル特別セミナーを札幌グランドホテルで開催し、内チーフズ工房の生産者による講演やチーフズ工房の特長を生かした料理の実演、盛り付けの専門家によるデモンストラクションなどを紹介し、道産チーフズの魅力を伝えました。

講演では北海道産チーフズのレベルの高さや、講義では北海道産チーフズのレベルの高さを道内各工房のチーフズが解説され、試食会では道内各工房のチーフズが紹介された料理を5品に紹介した料理本が紹介された料理本が紹介された料理本の風味がPRされました。



JA共済連北海道



JAのこども共済「学資応援隊」がママリ口コミ大賞2019春 学資保険部門第1位に選ばれました。

「ママリ口コミ大賞」とは、ママ向けアプリ「ママリ」がユーザーを対象に「本当に買ってよかった」と思う商品・サービスについてアンケートを実施し、口コミ件数と満足度を基準に支持が多かった上位商品を紹介する取り組みです。

JA共済連は、これからもお客様にご満足いただけるように努めてまいります。

JA北海道厚生連



組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。

年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。

ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非一読ください。





3月18日(月) たいせつ農協鷹栖年金友の会総会



たいせつ農協鷹栖年金友の会総会が扇松園にて46名の出席により開催されました。

坂本会長の挨拶と、たいせつ農協松原代表理事組合長の挨拶のあと、坂本会長が議長となり議事に入り、事業報告や事業計画などすべて原案通り承認されました。

総会終了後はお風呂に入りゆっくりされたあと、お楽しみの懇親会が始まりました。カラオケでは歌自慢・のど自慢の方々の素晴らしい歌で盛り上がり、ビンゴ大会では景品に隠しプレゼントが付いていて、皆さん真剣に選び楽しい時間を過ごしていただきました。

今年度の行事は、パークゴルフ大会を3回と昨年実施して好評だった日帰り旅行を計画しています。会員の皆さん参加をお待ちしています。また、会員以外の方で加入希望の方は、お気軽に鷹栖支所貯金係までお問合せ下さい。

3月29日(金) JAたいせつ青年部春季交流会

JAたいせつ青年部では毎年、春作業が本格化する前に部員間の懇親を深めるため、春季交流会を開催しております。

部員26名が参加のもと、今年も引き続きディノスポウル旭川にてボウリングを行いました。多くのレーンでストライクが連発する白熱したゲーム展開となり、歓声や笑い声が多く聞こえとても盛り上がりのあるゲームとなっております。

その後、懇親会場へと移動し、ボウリングの表彰を行い、順位の上位3名の方には豪華景品が渡されました。

本格的な農作業前に今後の青年部活動がより充実したものとなるよう、結束を深める良い機会となりました。



4月1日(月) JA女性部向け事業懇談会の開催



JA女性部向け事業懇談会を本所事務所2階大会議室にて部員15名の参加により行いました。

最初に本年度の総代会議案を中心に説明があり、その後の意見交換会ではJAの各事業や女性農業者の経営参画等に対する意見など様々な意見をいただきました。お忙しい中お集まりいただいた部員の皆様大変お疲れ様でした。

4月1日(月) JA青年部向け事業懇談会の開催

JAたいせつ本所事務所2階会議室でJAたいせつ役員と青年部の事業懇談会が開催され、部員17名が参加されました。

始めに、JA役員から総代会議案に基づいて、決算や事業計画に関しての説明が行われた後、輸出米の取り組みや営農技術情報等の発信方法や内容の充実、田んぼアート事業など、JA事業に対して様々な意見交換が行われました。

今後の若い農業者のご意見をいただく場として、青年部向け事業懇談会の開催を継続して参ります。

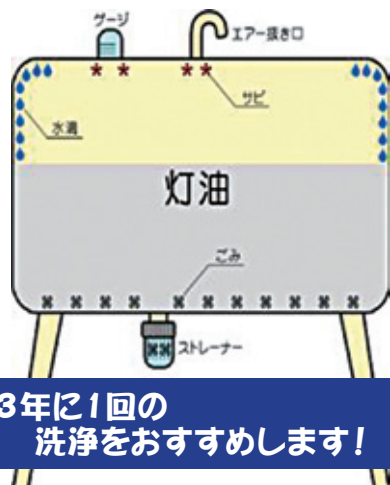


灯油ホームタンクの洗浄をおすすめします!!

汚れた状態で長く使用すると、タンク・パイプの破損やパイプづまり、ストーブの故障の原因になります。

★タンク洗浄は、
灯油が残っていても大丈夫!!

- ホームタンクの灯油、水、サビ、不純物をすべてバキューム!
- 高性能ストレーナーで水、サビ、不純物をろ過して除去。
- ろ過した灯油をジェット噴射してタンク内を洗浄。
- もう一度灯油をキレイにろ過してタンク内へ。



ホームタンクは2~3年に1回の
洗浄をおすすめします!

オフシーズンのこの時期だけの
特別価格!!

5,400円(税込)

8月末
まで受付

※フィルター交換などは、別途料金がかかります。

JAたいせつ
ホクレン東鷹栖給油所

TEL. 57-2308 FAX. 57-2073
旭川市東鷹栖東1条3丁目

お問い合わせ
お申込み

JAたいせつ
ホクレン鷹栖給油所

TEL. 87-2409 FAX. 87-2445
上川郡鷹栖町北1条1丁目

キャッシュバック券 引き換えのお知らせ

日頃より当農協給油所をご愛顧いただき、誠にありがとうございます。

当給油所では、灯油定期配送の契約を結んで頂いているお客様にキャッシュバック券をお送りし、期限内に引き換えをしております。**期限は5月末日まで**になっておりますのでお忘れが無いようにお早めに交換をお願いいたします。**期限を超えますと引き換ができなくなります。**

1. 引換え期間 平成31年4月から5月末日まで(2ヶ月間)
2. 引換え場所
ホクレン東鷹栖給油所
旭川市東鷹栖東1条3丁目
ホクレン鷹栖給油所
上川郡鷹栖町北1条1丁目



対象者

- 200L以上のホームタンク所有の方
- 定期配送の方
- 灯油シーズン中(平成29年10月~平成30年3月末)600L以上ご購入いただいた方

新登場!!

組合員のみなさまへ

ポイント機能付き (未収・組勤) イエローカード



従来(給油時)

- ①イエローカードを通す ②アロックスカードを通す ③給油



新カード(給油時)

- ①ポイント機能付きイエローカードを通す ②給油



1枚で一括管理!!

希望者はメカニックセンター窓口までお越しください
※詳しくはスタッフまでお問い合わせください



たいせつ農業協同組合

ホクレン東鷹栖 SS
旭川市東鷹栖東1条3丁目272 Tel.:0166-57-2308
ホクレン鷹栖 SS
上川郡鷹栖町北1条1丁目1-9 Tel.:0166-87-2409



退職のご挨拶

参事 三浦 義昭

新緑の候、組合員皆様には益々ご健勝の事とお慶び申し上げます。

私こと、四月三十日を持ちまして、長年お世話になりました「たいせつ農業協同組合」を退職いたしました。

顧みますと昭和五十四年、旧東鷹栖農協に奉職以来四十年の長きに亘り勤めさせて頂き、微力ではありましたが今日を迎えることができました事は偏に組合員皆様のご理解と役員皆様方のご指導とご厚情の賜物と深く感謝申し上げます次第です。

農業を取り巻く環境は、人口減少や高齢化の急速な進行に伴う労

働力不足に加え、TPP11・日EU・EPA等の国際貿易交渉の急

激な発展や、日米間で新たに交渉が合意された日米物品協定（TAG）の議論の行方による将来不安など、本道農業を取り巻く情勢は大きな変革期を迎えて

おりますが組合員皆様とともに役員が一体となり地域農業の維持と継続に取り組み難局を打開し発展されます様心よりご期待申し上げます。

末筆ながら組合員皆様のご健勝とたいせつ農業協同組合の益々のご発展をご祈念申し上げます退職のご挨拶とさせていただきます。

長い間ありがとうございました。



退職のご挨拶

総務部長 絹笠 浩

組合員の皆様には、益々のご健勝の事とお喜び申し上げます。

私こと、四月末日をもちまして、長年お世話になりました「たいせつ農業協同組合」を退職させて頂いたいただきました。

昭和五十六年、旧鷹栖農業協同組合に奉職以来三十八年余りの長きに亘り勤めさせて頂いたことは、組合員の皆様をはじめ役員の方々の皆様のご厚情とご指導の賜物と感謝申し上げます、そして、このように無事大過なく勤め終えることが出来ましたことを心よりお礼申し上げます。

今後は第二の人生を

送ることになりますが、この組合で得た経験、皆様と励んだ思い出を支えに人生を歩んでいきたいと思えます。

最後になりますが、たいせつ農業協同組合並びに組合員、役員の方々の皆様の一層のご発展とご健勝、ご多幸をお祈り申し上げます退職のご挨拶と致します。

本当にありがとうございました。



第3回法律相談日のご案内

J Aでは、農地の売買・相続等に関する問題や、その他日常における法律問題について相談いただけるよう顧問弁護士による法律相談日を定期的に設けておりますので、事前にご予約の上お気軽にご利用ください。

- ・相談日時 令和元年5月31日（金）午後3時から午後5時
- ・相談場所 本所事務所 2F研修室
- ・弁護士 田代 耕平氏（札幌総合法律事務所）

お問い合わせ先

本所 営農部営農支援課 ☎57-2357 / 支所 鷹栖支所営農施設課 ☎87-4111

理事会からのご報告

平成三十一年三月十一日第十五回理事会で次の案件について協議し承認決定されました。

一、第十六回通常総代会提出議案・議案書について

第十六回通常総代会の提出議案として、全議案九号と報告事項三件を総代会提出議案として承認決定致しました。

二、総代会招集通知、議決権行使書面の内容について

原案通り承認決定致しました。

三、平成三十一年度余裕金運用方針について

平成三十一年度余裕金運用方針について承認決定致しました。

四、平成三十一年度事業計画並びに収支計画について

平成三十一年度事業計画にあたって、各部門事業運営方針及び収支予算案について説明があり承認されました。

五、組合員持分譲渡承認について

二件の持分譲渡承認について決定致しました。

六、農協事業懇談会の開催について

平成三十年決算並びに平成三十一年度計画等について、農

事組合・青年部・女性部懇談会を三月二十六日より四月一日の五日間で実施することで承認されました。

平成三十一年三月二十二日第十六回理事会で次の案件について協議し承認決定されました。

一、JA全国監査機構監査報告について

平成三十年三月五日から九日まで実施されました全国監査機構の決算監査結果について報告があり承認されました。

二、監事監査報告について

平成三十一年三月四日から三月八日まで実施された全国監査機構監査の結果及び方法の相当性と平成三十一年二月十八日から二月二十六日までの間実施されました決算監査報告がなされ承認されました。

三、平成三十年決算関係書類の承認について

平成三十年度事業報告、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案、注記表、及び附属明細書等について報告し原案通り承認決定致しました。

四、持続可能な事業運営のあり方に係る今後の事業運営の方向性について

原案通り承認決定致しました。

五、就業規則及び関連規程の改正

について

原案通り承認決定致しました。

六、マネロン及び反社会的勢力等への対応に関する規程等の改正について

原案通り承認決定致しました。

七、組合員の持分譲渡承認について

三件の持分譲渡承認について決定致しました。

八、総代会対策について

原案通り承認決定致しました。

監事会からのご報告

平成三十一年三月八日第十三回監事会で次の案件について協議し承認決定されました。

一、決算自治監査結果報告について

原案通り承認決定致しました。

平成三十一年三月二十二日第十四回監事会で次の案件について協議し承認決定されました。

一、決算自治監査講評について

原案通り承認決定致しました。

「たいせつ」のあゆみ

4月

4月2日 企画会議

4月5日 第17回理事会

4月10日 第16回通常総代会

第1回理事会

第1回監事会

4月27日 JAたいせつ地域水田

農業推進協議会総会

春の園芸市・SSたまた

ごキャンペーン（28

日）

人事異動がありました

（令和元年5月1日付）

（ ） 異動前勤務

澤田 康彦

参事

（参事役兼購買部長）

総務課より

ひろばたいせつ4月号で平成31年度新規採用職員紹介をさせて頂きましたが、その中で、金融部金融課の南條仁咲のふりがなを「にさき」と表記しておりましたが、正しくは「みさき」となりますので、訂正させて頂きます。